

社会見学の学研都市

奈良市編

けいちゃん・はんちゃん・なあちゃんの3人が、けいはんな学研都市の8市町(精華町、木津川市、京田辺市、枚方市、交野市、四條畷市、奈良市、生駒市)を全8回にわたって訪問します。シリーズ第2回となる今回は、奈良市を訪問しました。

株式会社 誠勝

JR 奈良駅のすぐ近くにある、株式会社誠勝に行ってきたよ。この会社は、さまざまな書類や資料をスキャンして、データにする会社なんだ。読み込む資料の種類に合わせて、たくさんのスキャナーを使い分けているんだよ。例えば本や雑誌の他に、大きな絵画もスキャンできるんだ!会社には大きな絵画用のスキャナーがあって、筆のタッチや絵の具の厚みなんかもキレイに読み取ることができるんだよ。



書類をすごいスピードで取り込めるスキャナーもあって、すぐに画面で確認できるのはすごかったなあ。それから、ホチキスやクリップで止められた資料は、手作業で毎回キレイにはずしているんだって。とっても繊細なお仕事だなあ。社長さんは「情報をデータにして残すことは、未来の日本をつくることでもあるんです。今後はスキャンした情報の分析や活用にも力をいれていきたいですね」ってお話していたよ。



ゴールデンラビットビール

奈良生まれのクラフトビールがたくさんあるって聞いて、ゴールデンラビットビールにやってきたよ。2階は色んな種類のビールが飲めるお店になっていて、1階には私よりも大きなタンクがたくさん!このタンクの中でビールって作られているんだね。主にフルーツを使って、何種類ものビールを作っているんだって。それぞれのビールの名前は、和歌の枕詞が使われているよ。



そして!製造のときにできた材料の搾りかすは、ビールの原料となるホップを栽培する堆肥に使ったり、近くに住んでいるニワトリさんのおやつになるんだって!ゴミが出なくて地球にやさしいね。製造をしている市橋さんは「色んな種類の酵母それぞれが持つ個性を生かすことが大切。作ってみたいビールのアイデアがいつも溢れています」って教えてくれたよ。私も大人になったら絶対に飲んでみたいな!



株式会社誠勝 奈良支店
(〒630-8244 奈良市三条町475-1 松田ビル3階)

「文化を継承するアメーバ」を創る」というミッションを掲げ、紙資料のデータ化の受託事業等、あらゆる企業・団体が自社の文化の保存と発展を、自律的に推進するための事業に取り組んでいます。
「第17回けいはんなビジネスメッセ2022」へも出展します。



ゴールデンラビットビール
(〒630-8362 奈良市東寺林町30)

地元「奈良」の味にこだわり、「醸す」に必要な麦やお米などの原材料はもちろん、奈良産の素材を活用したクラフトビールを、試行錯誤しながら日々醸造しています。奈良先端科学技術大学院大学と共同で、新しい酵母の開発も行っています。



イラスト・記事制作
おおえ さき

イラストレーター、マンガ家、ラジオDJ。
京都市出身。
著書『ショート・ショート・キョート』発売中。
FMKYOTO『FLOWER HUMMING』
毎週日曜20時からOA中。
SNSにて作品更新中!
twitter/instagram @ohyeah_saki